

秦野さんぽ

夏秋号

■ 秦野を散歩して再発見するマガジン ■

1999 VOL.2

秦野市観光協会

- 〒257-8501
- 神奈川県秦野市桜町1-3-2
- TEL.0463-82-5111
- インターネットホームページ
- 秦野市[観光]案内
- <http://www.city.hadano.kanagawa.jp>

特集

祭

第52回

秦野たばこ祭

秦野たばこ祭協賛 オリジナルロマンスカード発売中！

たばこ祭の開催を記念して小田急電鉄で使用できる「ロマンスカード」を発売中。1枚1300円で価格の一部は祭への協賛になります。ご協力ください。[販売場所] 市役所商工観光課、秦野駅前名産センター、秦野駅・渋沢駅市役所連絡所など [お問い合わせ] 秦野たばこ祭実行委員会 0463(82)5111



打上花火

情熱は「火」として甦る。

 かねがわのまつり50周年
まつり

とき：
平成11年
9月25日(土)・26日(日)
場所：
小田急線秦野駅下車
本町四ツ角周辺

昭和23年、たばこ祭は、煙草耕作組合連合会の創立25周年にあたり様々な事業が実施され、その一環として始まりました。この時に中山晋平作曲・小島喜一作詞の「たばこ音頭」ができ、その当時のたばこ耕作者の勞をねぎらいました。秦野のたばこ耕作は、江戸時代初期に始まり、秦野の産業の礎を築きましたが、昭和59年にその耕作の歴史に幕を閉じました。多くの先人達がたばこ耕作に注いだ努力と情熱は、たばこ祭のテーマである「火」として受け継がれていました。

見どころは、昨年は見合わせた打ち上げ花火です。

「26日(日)実施」この時間は弘法の火祭(河原に置いた大松明を燃やす)と仕掛け花火が一連の流れで実施されるので今までにない「火」の祭りを堪能することができます。●ア

クセス・小田急 線秦野駅下車

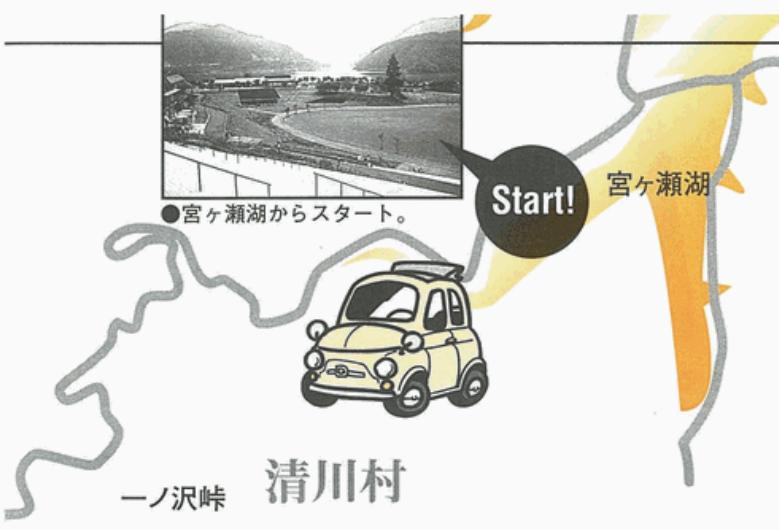


弘法の火祭



ジャンボ火起こし綱引きコンテスト

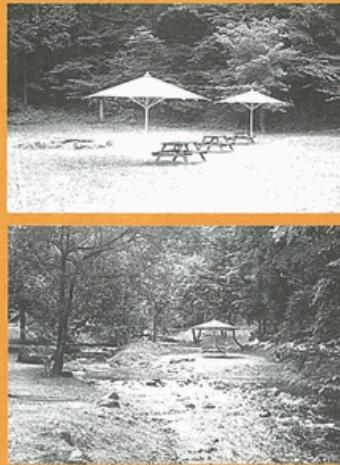
主な行事	
1日目	●オープニングパレード(音楽隊)
25日(土)	●子供ショーカンボ火起こし綱引きコンテスト
●仕掛け松明	
2日目	●たばこ祭パレード
26日(日)	●子供ショーカンボ火起こし綱引きコンテスト
	●弘法の火祭●打上花火
	●フロートパレード
	●たばこ音頭パレード



一ノ沢峠 清川村

35分

キャンプ場



●ボスコオートキャンプベース
「かながわ美林50選」に指定された1000ヘクタールもの雄大なフィールド内にあります。キャンプに必要なグッズはすべて揃っています。ベース内にはカフェテラス「Cafe BOSCO」をはじめ、少し下流にはフライ・ルアー専用のフィッシングフィールド「フリック」があります。

[施設利用料金]

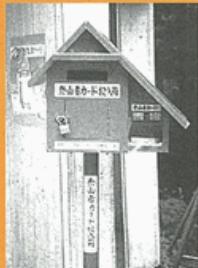
- オートキャンプ（車一台につき）
土・日・祭日は6,000円、平日は4,000円
ご利用時間：AM11:00～AM10:00
- ディリーキャンプ（車一台につき）
土・日・祭日は3,000円、平日は2,000円
ご利用時間：AM11:00～PM16:00
- 入場料（1名）500円
※G.W./8月上旬は特別料金。
予約は2ヶ月前からOK!



●ヤビツ峠
丹沢表尾根の登山口で、ここから約1時間歩いたところには相模の名山「大山」がそびえ、また約30分登れば、岳ノ台展望台に到着します。車で乗り入れできるので気軽に自然を満喫できます。



登山をする方は登山者カードの記入をお忘れなく。



●自然観察の森

ここは草花や野鳥などの観察ができる場所です。コナラやクヌギが並ぶ「高木の道」には四季折々の花が咲き、「探鳥の森」夏にはホトトギスの鳴き声などを聞くことができます。トトロでも出てきそうな森で最近ではめずらしい、いい意味で整備されていない森です。



昔の人の営みが伝わってくる「緑水庵」



落ち着きます。

ちよつとそこまで深呼吸に行きましょう。

Let's Go!

散歩 第2回

やまなみ
ルート巻

ドライブ編



ヤビツ峠から見た秦野市内



菜ノ花台付近の神社から



当日は雨の影響で川が濁っていました



芳甘菓豆芳

秦野市平沢726-1 ☎0463-84-5110

●手むき落花生 ●ビー最中

●手焼ピーナッツ煎餅



丹沢の麓の大自然と
人の手が育んだお土産の数々

観光協会が推奨品として認定した秦野の味と伝統を伝える特産品を取り揃えて販売しています。お客様のおもてなしに、お出かけのときのお土産に、また、お中元、お歳暮にどうぞご利用ください。

秦野名産センター

営業時間：午前9時～午後8時 年中無休

TEL.0463-83-6477 FAX.0463-84-6712

〈各地発送も承ります〉



自然を満喫、爽快ドライブ。

今はクルマで宮ヶ瀬湖から秦野市内までヤビツ峠をドライブしてきました。スタートは、きれいに整備された宮ヶ瀬湖が一望できる「水の郷」から出発です。まず、この峠を通つて一番最初に感じることは杉並がきれいなことです。特にここだ! というところはないのですが、その垂直にそびえる大木たちが、夏の日射しでコントラストを創り、幻想的な世界を創つてくれます。しばらく走つていると5年前にオープンしたオートキャンプ場「ボスコオートキャンプベース」に着きました。ここではバーベキューはもちろん、ハイキングコースや森林浴、釣り(総延長2キロのルアー・フライ専用もあり)などキャンプ場をベースにした自然の遊びが楽しめます。

「ボスコ」でしばし休憩をし、次の目的地の「護摩屋敷の水」へと向かいました。着いてみると、「ボスコ」でしばし休憩をし、今までほとんど対向車と遭遇しなかつたのに、すごい人にクルマの数。何事かと人だかりをのぞき込むと、沢山の容器が水の汲まるのを待つていていたところでした。そんなにここの水はうまいのかと聞くと、喫茶店を経営している方は、「この水はコーヒーにぴったりで、とてもおいしいと評判なんだ!」と言つておりました。

奥深い緑の中のオアシスを出て、大山や近隣の山々への登山口であるヤビツ峠を経て、菜ノ花台へ。奮状態で展望台の上へ登ると、秦野市街地が模型のように見えています。空気が澄んだ日は相模湾が一望でき、大島も見えるそう

取材した日は、梅雨明け間近の

天候不順な日でしたが、ドライブしていく気づいたことがあります。この峠道は道幅が狭く見通しが悪い時があります。ここをドライブするときは、昼間でもヘッドライトを点けて対向車に自分の存在を早めに知らせた方が安全であります。(ご存じかと思いますが・・・)

次は養毛地区にある「宝蓮寺大日堂」。ここはまさに「静」の世界。かつては、密教の大道場だったそ
うで、大日如来坐像、宝生如来坐像、阿閦如來坐像、釈迦如來坐像、阿彌陀如來坐像が安置されています。全国的にも五体揃っているのは稀で昭和49年に県の重要文化財に指定されています。

そして、クルマは「自然観察の森」へ。まず、最初に目に付くのが水車小屋。昔の秦野には多くの水車があり、精米や製粉の機械として使つていました。これは復元をしたもので、森の入り口には「緑水庵」という休憩所があり、昔の様子や森の姿を紹介しています。「自然観察の森」では、四季折々に変化する植物や鳥などを見てまわることができます。トンボを見ただけで、子供の頃に戻ったかのようにはしゃいでしまいました。



●護摩屋敷の水
こここの水はおいしいことで大変有名です。



秦野市



●菜ノ花台 展望台があり眺めは最高! 風も清々しい。



秦野のみやげ

落花生のお求めは、各店又は秦野名産センターで!



(有)豆芳商店
秦野市緑町14-26 ☎0463-81-6003
●さやつき落花生 ●豆づくし
●落花生あまなつとう



(有)牧嶋商店
秦野市柳町2-4-6 ☎0463-87-1522
●4色ピーナッツ



(有)かまか商店
秦野市曾屋1-5-15 ☎0463-81-0006
●ピーナッツ三色詰



大木商店
秦野市柳町1-11-6 ☎0463-88-0041
●三味三色落花生 ●手むき落花生

